

# 県立多治見病院 緩和ケア病棟通信



発行：県立多治見病院 緩和ケア病棟

VOL.50 2014年 3月号

文責：山中 洋美 編集：櫻田 亜矢子

3月21日の春分の日には第7回遺族会(はすの実の会)が開催されました。今回の参加人数は、今までで一番多く、47名の遺族の方が参加されました。

虎溪山の虎山住職さん、ハーブ演奏者の大川先生ご夫婦、ボランティアさん、病棟スタッフ総勢16名でお迎えをし、妻を亡くした夫、夫を亡くした妻、親を看取った子供、子供を看取った親、兄弟を亡くした方など同じ境遇の方たちを1グループに分け、そこにスタッフが入ってグリーフケアを行いました。

また、最初にハーブ演奏を聴いていただき、心癒される時間を過ごしてもらうことができました。



## グリーフケアとは

大切な人と死別した家族(遺族)がその悲嘆(グリーフ)を乗り越え、悲嘆から立ち直り再び日常生活に適応していくことを見守っていくこと(ケアをすること)という意味です。緩和ケア病棟ではこのグリーフケアを目的とした遺族会を年に2回(春分の日と秋分の日)に開催しています。今後も虎山住職さん、ボランティアさん、スタッフの協力を得ながら継続していきたいと思っております。



## 4月の予定

- 3日 音楽療法
- 7日 マジックショー
- 8日 三味線
- 17日 園芸療法
- 18日 三線
- 21日 音楽療法
- 24日 ハーブ演奏
- 26日 アニマルセラピー
- 28日 法話

